

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	<b>提案機関名</b>	農業振興課
70		
※記入不要		
<b>要望問題</b> 剪定枝と家畜糞の炭化による混合堆肥生産技術の確立		
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】		
<p>背景：剪定枝を破砕している造園業界は生家畜糞との混合による堆肥生産を試行している。この中で堆肥の需要量が多いと言われるゴルフ業界では、この混合堆肥の炭化技術を応用した堆肥を求めている。このことから、異業種が連携し、新しい堆肥生産による新商品の確立により、堆肥を流通させ、経営の安定化が求められている。</p> <p>内容：炭化破砕剪定枝と、牛の生ふんを混合したものを堆肥化した後、ペレットに加工して製品化する。異業種連合による地域振興策として位置づける。          まずは、堆肥化するのに最適な、炭化剪定枝との混合割合を明らかにすること。次に、ペレット化した場合の市場性の検討、生産量と最適プラント規模や必要能力の検討、生産面の経済性の検討等が求められる。</p> <p>対象地域及び規模：県下一円、規模の大小問わず。</p>		
<b>解決希望年限</b>	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内	
<b>研究対応区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①研究所対応 <input type="checkbox"/> ②委託研究 <input type="checkbox"/> ③共同研究 <input type="checkbox"/> ④その他	
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input type="checkbox"/> ①農業総合研究所 <input type="checkbox"/> ②根府川試験場 <input type="checkbox"/> ③三浦試験場 <input type="checkbox"/> ④津久井試験場 ) <input checked="" type="checkbox"/> ⑤畜産研究所 <input type="checkbox"/> ⑥水産総合研究所 <input type="checkbox"/> ⑦内水面試験場 <input type="checkbox"/> ⑧相模湾試験場 ) <input type="checkbox"/> ⑨自然環境保全センター	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	畜産研究所
部 署	企画経営部
<b>対応区分</b>	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可
<b>試験研究課題名</b>	(①、②、④の場合) 家畜ふん尿処理技術の開発
<b>対応の内容等</b>	<p>原料となる炭化剪定枝や牛の生ふんが現地で調達でき、また敷地もあるような状況と推察されるので、現地で堆肥化実証試験として、最適な混合比などの調査が必要と思われる、この場合の技術協力をいたします。</p> <p>炭化された剪定枝の粒度が細かすぎると、水分調整材として生牛ふんに混合した場合に空気を含む間隙が形成されにくくなり、堆肥化に支障をきたすおそれもあるので注意が必要と思われます。</p>
<b>解決予定年限</b>	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
<b>備考</b>	